

【53用語】

拘引（こういん）…捕らえて連れて行くこと

激昂（げきこう）…奮起して気をはるること、気立ての激しいこと

遮断（しやだん）…遮り絶つこと、塞ぎ止めること

説諭（せつゆ）…説いてさとすこと、言い聞かせること

郡吏（ぐんり）…郡役所の役人

訓示（くんじ）…上位の者が下位の者に教え示すこと

再挙（さいきよ）…再び事をおこすこと

【53解説】

足尾銅山の鉍毒問題は、栃木県選出の代議士田中正造が明治二十四年（一八九一）十二月の帝国議会で質問に立つてから世間の注目を集めたが、その被害が表面化したのは、前年八月の暴風雨による渡良瀬川大洪水であった。その後、度重なる洪水によつて被害民らの運動が激化し、明治三十年代に入ると、被害町村民が大挙上京して直接政府に請願を行う示威運動（東京押出し）を展開したのである。

本文書は、明治三十三年二月に田中正造らが決行した第三回目の請願運動、俗に川俣事件に関する邑楽郡長から古荘県知事への報告である。内容は、栃木・群馬・埼玉の被害農民ら二千人余が雲龍寺に集合し、二月十三日館林を出発し東京に向かった際、途中の川俣村渡船場で警官と大乱闘となり、結果的には農民らが四散して沈静化したことを伝えている。